

第2回理事会記録

平成30年7月10日(火) 14:00～

於 山口県教育会館 三階 第4研修室

議長 第1地区 明新小 岩田教頭 由宇中 山田教頭

IT推進委員 東田布施小 石田教頭

教職員共済組合(所長 臼杵 様)

みなさんこんにちは。今日は、教職員共済ニュースを配付していただきたいというお願いでここに来ています。教頭会・校長会で配付をお願いします。整備工場は東部地区が少なくご迷惑をおかけしていますが、よろしくをお願いします。指定工場をご利用していただければ、豪華景品があたりますので、お願いします。また、整備工場が直接お願いに来られた時には、温かく迎えていただければと思います。

8月7日には、20代～30代のライフプランセミナーが、また40代～50代のライフプランセミナーが開催されます。給与支給明細書の見方や、公的年金制度などについての説明があります。

共済ニュースは1月にも発行予定です。先生方に役に立つ情報を載せたいと思いますので、今後ともよろしくをお願いします。

本日は、ありがとうございました。

1 会長あいさつ(含情勢報告) (白井会長)

みなさん、こんにちは。

まず、このたびの豪雨で亡くなられた方、被災された方にお悔やみを申し上げます。先生方におかれましても、学校やご家庭が大変だった方もおられたのではないのでしょうか。このようなお忙しい時期に集まっていただきありがとうございました。

それでは、情勢報告をさせていただきます。

(1 ページ情勢報告により説明)

それでは、各事項についてご検討をお願いします。

2 総会・春季研修 大会の反省について

・研修部から

長門市では、市議会が行われていましたが、日程を調整していただき市長様にご出席いただきありがたかったです。

研修大会では、センザキッチンでおもちゃ館の館長をされている岩本美枝様においでいただき大変よいご講演をいただきました。お世話をいただきました長門支部の先生方、大変お世話になりました。ありがとうございました。

・地元から(長門支部)

大変お世話になりました。みなさまには、ご迷惑をおかけしたのではないかと思います。4ページの県教頭会春季大会の反省・気づきは、長門支部の反省です。参考にしてください。

当日は、支部での受付にしましたが、皆様にご迷惑をおかけしました。また、資料が不足し

ていた支部があり、ご迷惑をおかけしました。

3 各支部の状況について

特になし

4 各部の事業計画（活動計画）について

(1) 会報部（解放部長）

p.5・6

○会報部の活動について

・会報39号

発行は9月11日（火）で、第3回理事会で発行します。県教頭会のホームページにも掲載されます。また、事務局で、50部印刷して配付します。回収締め切りは、7月31日（火）で、会報部で編集・校正を行います。

・かなめ39集

原稿依頼は、第3回理事会の9月11日（火）に行います。

回収締め切りは、12月11日（火）です。会報部で編集・校正を行います。

発行は、第5回理事会2月26日（火）で、県教頭会のホームページにも掲載されます。

・会報39号の原稿執筆依頼（お願い）（原稿依頼者一覧による）

P.7

各支部で責任者を決めてください。支部だよりの責任者。新任教頭2名の方の責任者の方を決め、報告をお願いします。

(2) 調査部（調査部長）

・全国調査について

お忙しい中やっただき、先週まででしたが、ご協力ありがとうございました。

・県調査について

8月以降ウェブ調査を予定しています。2学期をお願いします。

(3) 法制部（法制部長）

p.14-17

全国要請部長会が、7月12・13日にあります。

P14、15 にありますが、山口県選出国會議員の方に山口県公立学校教頭会からの提案と要望書をお渡しし、お話をしていきたいと思ひます。まとめていただいたことをしっかりと話して来たいと思ひます。われわれが抱えている課題をしっかりと要請していきたいと思ひます。

また、山口県教育研究団体連絡協議会(校長会)への要請が8月2日にあります。

(4) 研修部（研修部長）

別紙

○全国研究部長会復伝 7月4・5日

統一研修主題の説明がありました。全国で統一して研究しているので、この冊子を役立ててほしい。今年度は、第11期3年の2年目になる。来年は12期に向けて動き出すので、そのことについて周知してほしい。研究の基本方針は、学校教育の課題解決に努める。副校長・教頭の職務内容や職務機能を追求する。研究成果を要請活動に

役立てていく。という3つの柱で行っている。 来年に向けて意見をまとめてほしい。研究を進めるにあたっては、「継続性・協働性・関与性」の3つの視点にそって進めてほしい。研究の成果と新たな課題を乗り越えるための研究をするなど継続性を持たせて研究するなど、方針を決めて行ってほしい。それを提言の中に反映してほしい。部長会の講演は、講師が妹背昌俊氏でした。「本気で進める働き方改革と教職員の学び」という演題で話されました。以下、概略。（プリント参照）

- ・長時間労働の影響は、6点あります。
- ・働き方改革の本当の意味は、
教師の命を守ること。
人生を楽しむこと。教員は、4000時間働いている。この人生をずっと送るのか。ワークライフバランスを考える必要がある。
いろいろな人が、若い人が働きやすい環境にしていく必要がある。
- ・副校長・教頭には何ができるのだろうか？
なぜ働き方改革が必要なのか教職員腹落ちさせていく。
地域の方に知らせていく。

○県教頭会春・秋研修大会会場持ち回りについて（研修部長・会長） p.18

今回（案）とつけているものですが、第1回の理事会で会場持ち回りについては、ご承認を得ていますが、萩・阿武支部の会長さんから分科会の提言発表についてご相談を受けました。第5分科会の発表が、28・29年度が萩・阿武（小）になっています。今回の一覧表では、第5分科会の発表は、31・32年度は、防府（中）になっていますが、実はここが萩・阿武（小）となっていました。1年開けただけで、31・32年度も同じ分科会で提言を行うため、検討をしてほしいという内容でした。また、31年度は、秋の研修大会の引き受け地区でもあります。

では、どうして防府（中）と入れ替えたかということ、前回発表から防府の中学校が4年開いています。そこで、防府（中）にお願いできたらと考えました。同じ分科会が連続するのは、避けたい。また、1年開きで発表があるのも避けたい。22支部なので、どこかが1年開いて提言を行わないといけません。しかし、どこかが今回のようになることは避けたいと思いますが、2021年までは、この一覧表の提案で行き、2022年から先は、今後検討を行っていきたいと思います。

○中国大会での第6分科会の取り扱いについて（会長）

全国大会では、第6分科会は行っていません。各ブロック大会でも提案しないブロックが増えています。現在は、中国ブロックだけ提言発表を行っています。中国ブロックもどうするか考える必要があります。2月の中国地区理事会で意見を集約しようということになっています。やめるとしたら、2021年の山口の大会からということになります。今年の岡山大会と、来年の島根大会は行うことが決定しています。2022年の岡山大会は、全国大会を兼ねているので第6分科会は行いません。やめるのは、もったいない。ローテーションをするにはやりやすい。また、働き方改革を取り上げるには6分科会が良い。今回は、皆さんに投げかけるだけで、9月の理事会で提案し、12月の理事会で検

討を行います。

私見としては、6分科会はなくても、1～5分科会で副校長・教頭の職務に関する課題については提言発表は行えると思います。また、分科会が多いと場所の確保や、会場運営などの分担も減るので運営面もやりやすくなります。

また、検討していきますので、皆さんも考えておいていただきたいと思います。

5 秋季研修大会（光大会）について

p.19-27

(1) 研修部から

- ・第1次案内
- ・分科会参加割り当て表
- ・参加申込一覧表 9月25日までに提出
- ・分科会提言者・司会者・記録者の報告の願い 8月31日までに提出
- ・分科会一覧表
- ・提言発表骨子 9月25日までに提出
- ・資料提出のお願い 10月31日までに提出
- ・提言発表骨子様式
- ・提言者・司会者・記録者・運営委員・会場責任者・地元役員・県役員打合せ会
10月 日
- ・大会当日までの流れ（参考）

光支部さんにお世話していただきます。p20以降、第6分科会 萩・阿武の後に（中）と入れてください。

日程は、そこに書いてある通りですが、詳しくは、今後光支部と話し合っていきます。

提言の支部は、担当はそれぞれの支部から出していただきます。司会は、発表2年目の支部でお願いします。記録は、発表1年目の支部でお願いします。下関（中）は中国大会で発表、山口（小）は、全国・中国で発表です。

各支部の分科会の人数の割り当ては、表をもとに、各支部で考えてほしい。光の会場によって、分科会の人数に変更が出るかもしれません。

P22の参加申込書 9月25日までにお願いします。

P23の提言者・司会者・記録者の報告の期限は、8月31日までになっています。よろしくをお願いします。

P25の提言発表の骨子を25日までに。指導者の方に送りますのでよろしくお願いします。当日資料（指導者用5部）は10月31日（水）までに、参加者用は、当日ご持参ください。パソコン・プロジェクターは、各支部で準備してください。提言発表は25分以内です。

10月に打ち合わせ会を行います。

分科会の記録用紙は、コピーを事務局に送ってください。

p27には、タイムスケジュールが書いてありますが、見にくいので説明します。提出期限、打ち合わせ会について。（まだ決まっていないので、後日案内をする。）部数については、後日事務局からお知らせをします。

6 組織マネジメントセミナーについて（8月23日・24日）

会場は、山口県由宇青少年自然の家「ふれあいパーク」岩国市由宇町銭壺山です。毎年2年目の先生方にご出席をいただいています。2回目の実行委員会は、現地で打ち合わせ会を行いました。行く道については、今回の豪雨で大変かもわかりませんので、HPなどで確認していただければと思います。

7 学校運営必携作成について（作成委員長）

7月末までに事務局へ送付（メール可）してください。

編集委員会が6月に行われました。8月に第2回があり、皆様から頂いた原稿を編集していきます。

31年度に向けて、今後も作成していくかどうかを考えています。理由としては、各支部で集まって分担したり、確認、提出していただいたりしていますが、難しくなっています。また、委員も年4回集まっています。日常業務が忙しいのに、集まってすることが大変難しくなっています。

（白井会長）義務教育課としても、皆さんの負担が大きいのに活用されているのだろうかということをお心配されています。活用度はどうなのか聞いてほしいと言われました。参加理事で挙手を行う。ほとんど見ないという方は9割、時々は、1割です。今年度でやめてもよい方9割、今後も続けてほしい1割。今日が、決定ではありませんが、参考にさせていただければと思います。

これを続けることを検討する必要があります。ここにおられる方だけで決めるわけにはいきませんので、各支部でも意見を聞いておいてください。

8 中国研究会（倉敷大会）について

p 28

平成30年11月22日（木）に開催されます。翌日は祝日ですので、3連休の前の日です。倉敷市で行われます。参加をお願いします。参加費3,000円は、県から補助します。昼食は各自ですが、旅費として3,000円の補助を行います。割り当て表を見ていただければおわかりのように、県役員を含めて73名の割り当てがあります。申し込みについては、参加される先生個人が、インターネットで各自手続きをお願いします。補助につきましては、12月の理事会で理事の先生に持って帰っていただき、渡していただければと思います。各支部で参加者をよろしくをお願いします。

8 全国研究会（札幌大会）について

p 29.30

21名の方が参加されます。p 30で、参加に係る旅費、参加費の報告をお願いします。参加費については、9月の理事会で理事の方にお渡しします。

9 その他

次回第3回常任理事会は9月11（火）10時30分から、理事会は14時からです。議長2名、IT委員1名は、第2地区からお願いします。

会長あいさつ

学期末の忙しい時期にありがとうございました。さきほどの2点については各支部でまた話し合ってください。お疲れ様でした。

.....弔意記録.....